

KDDIの「ケータイオフィス」なら社内ネットアクセスも簡単・安全に

外出先でも、携帯電話で社内のオフィスワークを実現できる。これが KDDI のASPサービス「ケータイオフィス」のコンセプトだ。携帯電話から社内グループウェアにアクセスして、メールやスケジュールを素早くチェックし、意思決定に反映する。KDDIの法人企業ユーザー向けモバイルサービス「ケータイオフィス」が今評判だ。

「携帯電話を使って、社外からメールやスケジュールを簡単にチェックしたい」かさばるノートPCを持ち歩かなくても、簡単操作の携帯電話だけで社内連絡やスケジュールの調整を行いたい、という企業ユーザーは少なくない。こうしたニーズに応えるASPサービスがKDDIの「ケータイオフィス」である。

ケータイオフィスは、外出先から携帯電話を使って社内のグループウェアに

アクセスできる、携帯電話とグループウェアを仲介するサービスである。一見、単純なシステムに思えるのだが、KDDIモバイル営業開発部の森和洋課長補佐は、「携帯電話を使って、リモートアクセスを実現する従来システムは、ユーザーにとって非常にハードルが高く、もっと簡単に導入しやすいシステムが望まれていた」と、ケータイオフィス開発の背景について説明する。

携帯電話で社内メールを読む場合、

メール転送を行えば簡単に済むようだが、多くの企業ではセキュリティ上、転送を禁止している。メール転送を行ったとしても、会社のメールアドレスから返信できないため不自由だ。

また、メール転送を行わず、携帯電話からグループウェアに直接アクセスできるようにするミドルウェアもあるのだが、これはサーバソフトとして提供しているケースが多く、システム全体で数百万円という高額なコストがかかってしまう。

さらに、投資回収の問題もある。メールやスケジュールといった情報共有を行うアプリケーションの場合、グループ間でナレッジの共有を行ったり、クライアントからの問い合わせの対応スピードを速め、顧客満足度を高めるといった効果はあるのだが、導入効果を定量的に期待したり、投資回収期間の算出はしにくく、思い切った投資は難しい。

ソリューション企画部の息辰明主任は、「携帯電話を使った従来のシステムでは、導入に当たって、ファイアウォールの設定を変えたり、それに伴うセキュリティの対策をとらなければいけないなど、意外に手間がかかるという問題があった」とも指摘している。

この点に着目し、KDDIは、ユーザーの導入のハードルを下げるため、初

期費用を抑え、低価格で利用できるASPサービス「ケータイオフィス」を開発したわけだ。携帯電話1端末当たり、わずか月額500円で利用でき、主要なグループウェアに対応できる。これにより、メール機能が大幅に向上し、会社のメールアドレスをそのまま利用できる上、社内のフォルダにリモートアクセスし、ファイルをメールに添付することも可能だ。

■ BREWを利用した定番アプリに

ケータイオフィスは、社内のグループウェアにアクセスすることで、メール、スケジュール、アドレス帳の3つのアプリケーションを利用できる。しかも、社内の1台のパソコンにケータイオフィスのリモート操作のソフトをインストールしておけば、ファイアウォールの設定変更なども要らずに簡単に導入が完了する。

では、ケータイオフィスの特徴である 主要なグループウェアに対応、素早いアクセス、安心セキュリティ、低コスト・簡単準備の4点を見ていこう。

主要なグループウェアに対応とは、企業に最も普及している「Lotus Notes/Domino」、多くの中堅・中小企業に利用されている「サイボウズ」、マイクロソフトの定番グループウェア「MS Exchange Server」に対応することで

素早いアクセスとは、KDDIが採用した、米クアルコム社のモバイルプラットフォームである「BREW™」による

ケータイオフィス対応端末。左から「A5501T」、「A5502K」、「A5503SA」今後、順次、対応端末が拡大される予定。



アプリケーションを利用することで、Java™対応の携帯電話に比べ高速に動作できる点。また、ブラウザベースのサービスとは違い、サーバと端末間でデータ同期を行い、メールやスケジュールなどのデータを携帯電話端末に蓄積。一度蓄積したメールやスケジュールなどの閲覧は、通信を行うことなくいつでも参照することが可能になる。

安心セキュリティは、インターネット経由で利用する場合には、欠かせないことだ。サーバと携帯電話間で、米国でセキュリティの標準方式として認められているAESによる暗号通信化を行う。これにより、インターネット上でも安心してデータのやり取りが可能になる。なお、ケータイオフィスは、携帯電話だけでなく、パソコンからの利用にも対応。海外出張時でも、パソコンから接続することで、社内のメールを安全に見ることが可能だ。

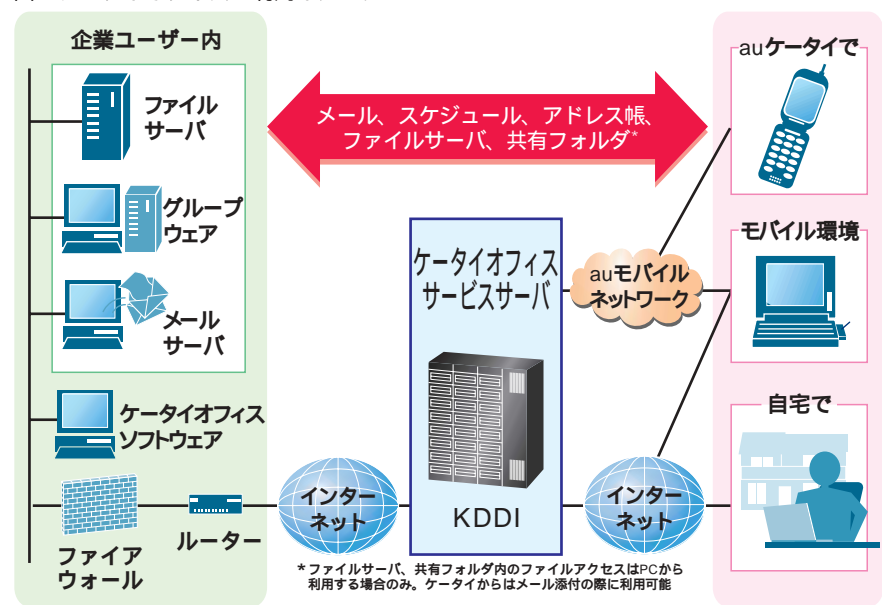
低コスト・簡単準備とは、情報シ

ステムの専任担当がいなくとも、利用できる仕組みのこと。サーバ設備などを導入しなくても、KDDIのサーバを利用するASPの形態をとっているため、イントラネット内の特定のPCに中継用ソフトウェアをインストールするだけで利用できるようになり、作業時間はわずか数十分程度である。

■ 中小企業も安心のASPサービス

ケータイオフィスはau携帯電話1台当たり月額わずか500円という廉価設定のため、大企業だけでなく、中小企業でも簡単に導入できる。ソリューション企画部の井上博司課長は、「従来は専任の担当者や専門知識が必要なため、なかなか手を出しにくかった中小企業でも、ASPサービスであるケータイオフィスなら容易に導入できる。セキュリティ面でも、万全体制のKDDIのケータイオフィスであれば安心して利用してもらえるはず」と話している。

図 ケータイオフィスの利用イメージ



*ファイルサーバ、共有フォルダ内のファイルアクセスはPCから利用する場合のみ。ケータイからはメール添付の際に利用可能

お問い合わせ先

KDDI株式会社 ケータイオフィスコールセンター
 TEL 044-829-2082 受付時間 9:00~21:00(土・日・祝日は除く)
 E-Mail koffice-service@kddi.com
 URL <http://www.kddi.com/business/solution/mobile/koffice/index.html>